

2006 (平成18) 年1月10日
東京都病虫害防除所

平成 17年度 病虫害発生予察情報 特殊報 第 5 号

病虫害名：うどんこ病 (仮称)

対 象：ポインセチア

1. 特殊報の内容

東京都下でポインセチア (*Euphorbia pulcherrima* Willd. ex Klotzsch) にうどんこ病菌の一種による病害の発生を初確認した。

2. 発生の経過および症状

2005年10月、ポインセチアの葉表面に直径 5 ~ 10mm, 円形 ~ 不整形で周囲不明瞭な黄色の病斑を多数生じる症状を認めた。病斑部分の裏面には、白色、表面平滑で光沢のある菌叢が生じていた。生産者への聞き取りでは、本症状は9月頃もっとも症状が明瞭となり、同時に罹病葉は激しく落葉した。

また、病勢の激しい葉では、病斑は互いに融合し、裏面全面に白色菌叢が生じるが、病斑は下葉に多く、上位の新しい葉や苞にはほとんど生じていない。

罹病標本を、富山県立大学の佐藤幸生博士に送付し同定を依頼した結果、ポインセチア葉上の白色菌叢は、うどんこ病菌の一種であることが確認された。

ポインセチアにおけるうどんこ病の発生は、国内初確認である。本菌の分類学的所属については、現在検討中である。

現在までに、'プレステージ'、'プレステージ・ブライトレッド'、'エンデュアリング・ホワイト'、'フリーダム・サーモン'、'V - 10 マーブル' の 5 品種で本病の発生を確認している。

3. 防除対策および注意点

(1) ポインセチアに発生するうどんこ病を対象に登録された薬剤はないが、樹木類に作物群登録された薬剤が使用できる (表 1)。なお、薬害回避のため、作物群登録された薬剤は、必ず試しがけを行う。

(2) 本病の病原菌は裏面性であるので、薬剤散布を行う場合は、葉の裏側にもよくかかるように留意する。

(3) 発生状況から、高温期に病勢が進展する可能性が考えられるので、葉裏をよく観察し、発生の初期に防除を実施する。

表 1 樹木類うどんこ病に登録されている薬剤

薬 剤 名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数
トリフミン水和剤	3,000倍	発生初期 / 5 回以内



ポインセチアに発生したうどんこ病 (仮称) の症状 (左: 葉表面, 右: 葉裏)